

# たきぎのう 龜山薪能

とき 8月29日(土)

開場:午後5時 開演:午後6時

ところ 龜山薪能特設会場

(龜山西小学校グラウンド)

※雨天の場合は、市文化会館大ホール

入場  
無料



※写真は平成22年度開催時の様子

## 日本の伝統芸能に触れてみよう

能楽は、継承されている演劇としては「世界最古」と言われる日本独自の舞台芸術で、ユネスコの無形文化遺産に指定されています。

市のシンボルである旧龜山城多門櫓を背景に、かがり火の薄明かりの中で、能のもつ幽玄の世界を感じてみませんか？



## 能楽ってなに？

能楽とは、能と狂言をあわせた用語です。

能は、先行文学などを題材としています。謡と囃子と舞を中心に物語が展開する演劇で、オペラやミュージカルに似ています。また、能面を用いることから仮面劇とも言われています。



狂言は、中世の庶民生活を題材とし面白おかしく描いたもので、台詞を中心に笑いを通して表現する台詞劇です。現代にも通じる「笑い」があり、親しみやすい点が特徴です。



## 出演者に聞く、能楽の見どころ

「能楽」は難しいというイメージを持たれがちですが、まずは「能楽」という日本の伝統文化に触れていただきたいと思います。わかる・わからないと考えるのではなく、自分にとって、おもしろい・おもしろくないかを、ぜひ評価してみてください。

「能楽」は600年もの間、続いています。なぜ、こんなにも長く続いているのか、それは能楽の生命力を感じ、良しとするお客さんがいたからです。

また、現在の「能楽」は600年前の“昔の文化”ではありません。時代の変化に合わせ、必要とされるものが残っていきます。昔ながらでありながら、600年もの歴史を経た“現在の文化”である「能楽」を、ぜひ会場で感じてください。



## 薪能関連事業のお知らせ

●薪能で感じた幽玄の世界を俳句にしてみませんか？

薪能当日、投句箱を設置します。応募いただいた作品は選句の上、9月11日(金)から24日(木)まで、市民協働センター「みらい」に展示します。(協力:龜山俳句会)

●龜山薪能に関するパネル展示

とき 8月中の土・日曜日  
午前10時～午後4時  
ところ 旧龜山城多門櫓内

## 問合せ先

市民文化部文化振興局文化スポーツ室  
(☎84-5079)